

写真
募集中!

わが家の愛ドル ～3月生まれ～

申込みは
こちら▶



井藤 陽菜乃ちゃん (4歳)



お誕生日おめでとう♡自分で出来る
ことが増えてきた
ね♪これからも陽
菜乃の成長を楽し
みにしているよ♪

野村 彩心ちゃん (1歳)



お誕生日おめでとう!毎日家族を笑顔
にさせてくれてあり
がとう。これからも
楽しい思い出いっ
ぱい作ろうね♡

庄田 陽織ちゃん (2歳)



すくすく大きくなっ
てくれてありがと
う!毎日とびきりの
笑顔をお願い!2
歳も楽しい事た
くさんしようね

楠本 彩葉ちゃん (1歳)



1歳のお誕生日お
めでとう!彩葉の
笑顔にみんな元
気をもらってい
ます。これからも
すくすく育ってね。

岩中 詩音ちゃん (2歳)



赤ちゃんだったあ
なたが2歳になる
なんて、本当に嬉
しいです。シー
ちゃんはパパとマ
マの宝物です。

松下 傑ちゃん (6歳)



すぐる6歳のお誕
生日おめでとう。
4月からは小学生
だね。元気いっ
ぱい楽しく過ごそ
うね。父母より

芳野 礼依ちゃん (6歳)



春からはいよいよ
小学生!わくわくド
キドキ、いろん
なことにチャレンジ
して、笑顔いっ
ぱいで過ごそうね!!

小川 楓禾ちゃん (3歳)



お話大好きでいつ
も笑顔のふう
ちゃんが毎日幸
せです。これか
らもう元気で優
しいふう
ちゃんいてね!

就学前の4月生まれのお子さんの
写真を募集します【抽選】。
3月10日⑩までに上記二次元コ
ードからお申し込みください。
☎ 企画広報課 広聴広報係
☎ 0739 (26) 9963
📄 <https://www.city.tanabe.lg.jp/kouhou/wagayanoidol.html>

たなベスマイル

田辺の和ティシエ



森山 昌彦さん

北新町

明治38年に祖父が和菓子屋を創業し、代々受け継いでい
ます。大学卒業後には洋菓子を学ぶため東京の洋菓子店で働
き、ノウハウを学びました。その後、田辺に帰ってきてこの
お店を継ぎました。

私が店主になってからはお店の品ぞろえを一新させまし
た。洋菓子の経験を生かして、地元特産の梅、みかんを使っ
た菓子などを創作しています。それを私は「和ティシエ」
と自称しています。

趣味というほどではありませんが、お菓子のパンフレット
作りに凝っています。パンフレットに景色を入れたいと思え
ば、旅行中のついでにその場所まで写真を撮りに行きます。
田辺の地名や人物の歴史を商品名に取り入れ、本の一文から
引用が必要な時は出版社や著者に手紙でお願いすることあ
ります。パンフレットには自作の詩も載せています。

初めて食べた時は特に印象がないような、じんわりと美味
しいお菓子が長く愛される定番になると感じています。これ
からも夫婦二人で頑張っていきます。



青春キラリ! 高校生レポーター

SDGsを考えて



正しいフォームでトレーニングを

写真・文 熊野高等学校 山本 雄貴

私は高校でスポーツやトレーニングを勉強していることから、
パーソナルジムを経営している亀田次郎さんにお話を伺いました。
亀田さんは、その人の運動レベルを見てその人にあったトレー
ニングを指導しています。「まずは正しいフォームを取得するための
トレーニングを覚えてもらい、それからダイエットなど目的に応じ
たトレーニングを行ってもらいたい」と話しており、初心者である
かどうかに関わらず、最初に適切なフォームが身につくように教え
ているそうです。適切なフォームでトレーニングを行えないと、故
障や筋肉の付き方に左右差があるなどの問題が起こるそうです。

トレーニングの正しい知識と技術を体験し、運動が習慣化して
いくことで市民の方の健康につながっていくと思いました。私も
トレーニングの正しい知識と技術についての学びをこれからも深
めていきたいです。

第38回

ミナラのキラキラ たなべ日記

～ Keeping the peace ～
平和を守るために

アゼルバイジャン生まれ
カナダから来ました
ミナラ・シュキュロワです♪



35年前、ソビエト連邦軍が私の故郷アゼルバイジャンに侵攻し
ました。その夜は、行き交う戦車のエンジン音と銃声が家の前で
鳴り続け、当時10歳だった私の頭にしばらく残って消えません
でした。そうした戦争の経験を自分の子どもに伝えてきたことも
あったか、息子は小さな頃から国を守ることに興味があり、国の
平和を守る日本の自衛隊にも興味を持っていました。

去年12月に新文里港で開催された海上自衛隊の船舶体験航海
に息子と参加しました。自衛隊の方々に船内を案内していただき
ました。また、高機動車にも乗せていただき、息子が「家のおも
ちゃと同じ車両に乗っているよ。」と笑顔で言っていたことが一
番印象に残っています。

今回体験した自衛隊の平和を守るための装備が、実際の戦争で
使われることのないよう、平和な世界を作ることの大切さを若い
世代に伝えていく必要があります。

